

政治学委員会国際政治分科会（第24期・第3回）

日時：平成30年7月13日（金）13:30~15:10

会議室：日本学術会議6-A

出席者（敬称略）：鈴木（委員長）、羽場、古城、我部、山田、亀山

欠席者：大芝、竹中、長

議題：

（1）「評価基準の現状」

- ・ 古城会員より本件の経緯を含めて説明があった。24 期中に第一部として提言等の形でとりまとめる予定。第一部の分野別委員会ごとに、現状把握が求められている。
- ・ 今年秋頃までに国際政治分科会としての現状把握の結果をとりまとめる必要があることから、鈴木委員長がひな形を作成し、分担して把握することになった。国際政治学の中でも、理論、歴史、地域の3つで、評価基準が違う可能性が高いために、これらの3つを分担して現状をとりまとめる。
- ・ 今回の作業の直接の背景は、2015年の文科大臣発言にあるが、若手育成のためにも、評価指標が明らかになっていることが望ましい。

（2）今期活動課題「グローバル政策ネットワークと国際機関：多国間主義の再生に向けて（仮題）」について

- ・ 資料に沿って、シンポジウム案について協議した。開催時期は2019年春または秋またはそれ以降の任務中。複数回開催もあり得る。第1回目の会場は京都大学を検討中。

（3）その他

- ・ 次回の分科会会合は、10月の国際政治学会大会（大宮）開催期間中を予定。